

◎ わたしたちにできることはないか、考えてみましょう。

小学生でもまちをきれいにする活動をしている人がいます。



○ 「くうかん鳥ちょう」にあきカンを入れる友だち

くうかん鳥とは、市の図書館としよかんのところにおかれている機械きかいで、あきカンを食べてくれます。あきカンを入れるとシールを出し、そのシールを百枚まいためると百円の図書けんとうかんできます。おかれてから十日間で一万四千こも食べたそうです。



○ 6キロも歩いてゴミひろいをした友だち



5月の連休れんきゅうのある日、中村一小の3人のお友だち（6年生しやくしよ）が市役所から原釜の海はらがままでの道6キロをゴミひろいしました。これは自分たちで計画けいかくをたててはじめたものです。2時間もかけて、あきカン100こ・おかしのふくろや

ビニールぶくろなどあつめました。3人は「いいことをすると気持ちがいい。せっかくひろったゴミだから、おもいけどもって帰ります」と話していました。